

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年6月19日	記入者		連絡先	2123
平成18年度部名		課名	秘書課	課長名	八木智明
平成19年度部名		課名	秘書課	課長名	柿沢正史
事務事業名	表彰経費				
予算上の事務事業名	表彰経費				
1 総合計画における位置づけ			施策コード		
基本目標	#N/A				
政策名	#N/A				
基本施策名	#N/A				
施策名	#N/A				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等 相模原市表彰条例、相模原市表彰条例施行規則					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント		5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
市政の振興、公共の福祉増進、文化の向上等に功労のあった方、又は広く市民の模範となる方を称賛し、これを市民に知っていただくために行うもの。				公共の福祉増進、文化の向上等に功労のあった市民、又は広く市民の模範となる市民。	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。 市制記念日(11月20日)に「相模原市表彰式」として実施。 市制功労表彰：83名・7団体					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
8 事業費の推移 [単位：千円]					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	2,954	3,139	3,101	5,357	5,357
一般財源	2,954	3,139	3,101	5,357	5,357
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
事業コスト合計	6,454	6,639	6,601	8,857	8,857
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	表彰経費			対象名称 と単位	表彰経費(円)
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	6,454	6,639	6,601	8,857	8,857
対象数	93	73	90	90	90
単位あたり経費(円)	69,398	90,945	73,344	98,411	98,411
前年度比		1.31	0.81	1.34	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	一人当たり表彰経費(円/人)	指標式と指標の説明	表彰経費総額÷受章者(団体)数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	69,398.0	90,945.0	73,344.0		
目標	70,000.0	70,000.0	70,000.0	70,000.0	70,000.0
目標達成度(%)	99.1	129.9	104.8		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	指標式と指標の説明				
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	0.0		
目標	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		本事業は、条例に基づき、市政の振興、公共の福祉増進、文化の向上等に功労のあった方、又は広く市民の模範となる方を称賛し、表彰するものであり、市民とのパートナーシップの構築のもと市政運営を行う上で、欠かせない事業である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
事務経費の大半を需用費が占めているため、仕様の変更などにより単価低減を図る。			活動の分野にかかわらず、市政への貢献に応じて表彰がなされるよう改善の余地があるものと考えられる。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		費用対効果を上げるために、最少経費で最大効果を発揮できる事業を実施すること。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			